

#2309

三三海外登山・信仰山の山を訪れる

韓国・智異山

実施日 2007年7月13日～16日(金)祝)

天候 曇り

リーダー 若村 勝昭

参加者 横山玲子、若村貴世子、若村勝昭、張隆達、近田

芳子、服部美千代 計六名

費用 航空券 55,000円 現地費用 32,000

0円 (現地費用は民宿2泊、タクシード、バス代、昼食・夕食代、観光入場料、釜山ホテル代を含む合計額。山行弁当や朝食は各自)

費用 計 約90,000円

コースタイム 中山里民宿(四時)入山管理所(4時30分)ぼん魚寺

(7時55分～8時5分)天王峰(智異山頂上9時5

0分～10時5分)ぼん魚寺(11時40分～11時

50分)中山里民宿(13時50分)

山行に關しての報告

十四日 4時に起床して出発、しかし、入山管理所で「台風のため登っちゃイカンよ」と言われ、そばの食堂で朝食など食べな

がら未練がましく規制が解除されるのを待ったが、あきらめて民宿へ戻り。その後、麓の晋州観光へ出かけた。

十五日 3時半に起床、今日は登らねばと歩き出す。アスファルトから山道に入ると石ゴロゴロで歩きにくく険しい。難渋しながらやっとボン魚寺、ここで待機組と頂上組に別れる。

相変わらず韓国のパーティーに追い越される。大声で話し、笑い、叫ぶにぎやかな登山者。しかし、ひっそりと歩く若い女性の単独行もいる。

こちらの人はとにかく早い。このコースは往復六時間余のはずだが、とても時間通りには歩けない。地図の時間は韓国ペースなので、1.5倍で見なければいけない。

あと0.8kmの標識のところで、さっきの単独行の美女から「フアイティン」とにつこりされる。俄然やる気、登る気、がんばる気が充満し、鼻息が荒くなり、頬が紅潮する。多分血圧も上がる。

0.6kmには大岩壁の下から豊富な清水。甘露甘露と喉を鳴らしあとは急登のガレにもめげず頂上到達。しかし一面ガスで眺望ゼロ。プラム一個を頬ばり下る。

ボン魚寺で待機組と再会、ひたすら下り民宿へ。シャワーを浴び、荷物をまとめ、缶ビールを手にそそくさとバスとタクシーで釜山へと帰っていった。

(記・若村 勝昭)

韓国 智異山

横山 玲子

日本に大型台風が接近中の影響で釜山空港は雨、登山口の中山里も雨でバス停前の民宿に飛び込みました。

翌朝、雨は降っていませんでしたが怪しい雲行き、風もあり登山は禁止でゲートが閉められ登ることが出来ません



でした。そこで下山後に予定していた晋州観光に出かけることになりました。晋州は韓国南部の古都で名所旧跡が点在している所、まずは晋州城に行き城を守る楼閣に登り広い城内を散策、博物館に入りました。そこには豊臣秀吉軍が攻め入り、ここで激しい戦いがあり6万人もの人が玉砕したと、当時の戦いを記録した資料がずらりと陳列

されていて大きなショックを受けました。館内で可愛い中学生の女の子4人と片言の英語や何やでおしゃべりをしたり笑ったりして気持ちがあつとほぐれました。

15日、朝4時満点の星空を仰ぎながら登山口へ、懐中電灯で登るには厳しい岩山の山道、午前8時1386mにあるお休所に到着、1日登山を遅らせたので今夜は釜山のホテルに予約がしてあります。釜山まで車で4時間はかかります。皆さんの足をひっぱりペースを落とすことは出来ませんので私はここで待機することにして、4人を見送り一人でこの上にあるポン寺めぐりをしました。山頂を目指す人は素通りするので参拝者は何人もいません。



午前8時 1386m地蔵頂上をめぐり4人 YOKOさんはお見送り がんばれ！

上にあると考えると嬉しくなり大満足して下山しました。

若村リーダーは一人馬力をかけて駆け登り駆け下り、3時5分のバスにのり6時40分釜山のホテルに着き、釜山港沿いのさしみセンターで豪華な夕食を頂くことができました。

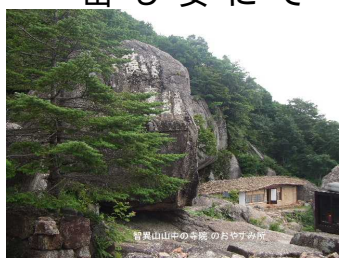
今回の旅は感謝！感謝！の旅でした。

まずはごぶし会に感謝、企画引率して下さいました若村リーダーに大感謝、一緒に登って下さいました同行者に感謝、世の中が平和であることへの感謝、戦争中だとしても外国には行けません。また文明の進歩に感謝、1時間40分の飛行時間、元気なDNAをくれた両親に感謝。

こんな我が儘な私を許してくれる(あきらめているのかも)旦那さまに感謝、感謝！感謝！の4日間でした。



中山里から見た上野村-釜山方面の山、本峰はどの山か？



釜山山中の寺のおやつが所